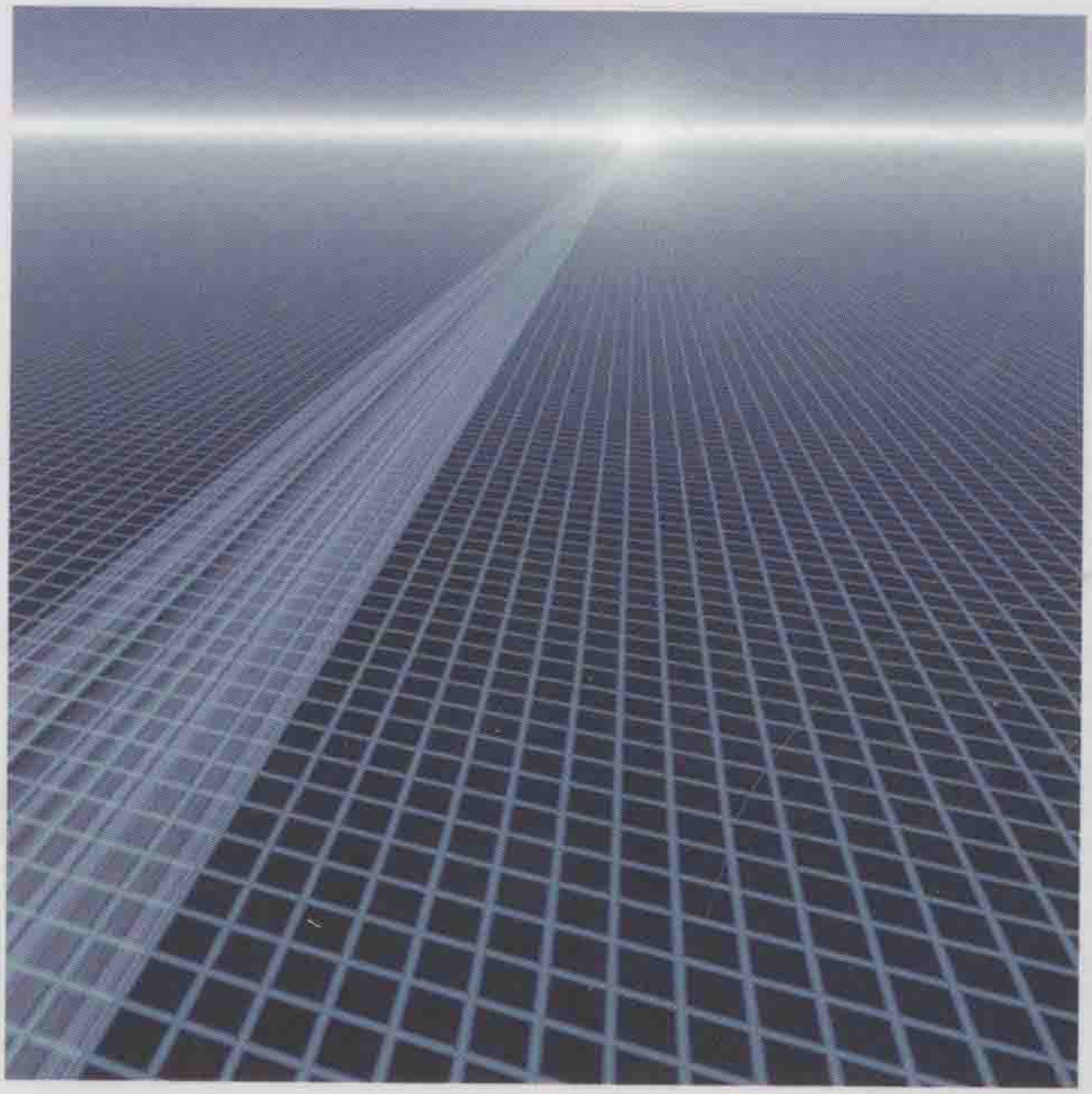
無限

The Infinite

その哲学と数学

A.W.ムーア
A. W. Moore

石村多門 訳
Ishimura Tamon



講談
学術

無限

その哲学と数学

A.W.ムーア
石村多門訳

常州大学図書館
藏書章

講談社学術文庫

A.W. ムーア

オックスフォード大学哲学科教授。
『諸観点』（*Points of View*, Oxford University Press, 1997）などの著作がある。

石村多門（いしむら　たもん）

東京大学大学院人文科学研究科博士課程満期退学。現在，東京電機大学教授。

講談社学術文庫

定価はカバーに表示してあります。

無限（むげん）
その哲学（てつがく）と数学（すうがく）

A.W. ムーア
石村多門（いしむら たもん）訳

2012年11月12日　第1刷発行

発行者　鈴木　哲
発行所　株式会社講談社
東京都文京区音羽 2-12-21 〒112-8001
電話　編集部（03）5395-3512
販売部（03）5395-5817
業務部（03）5395-3615
装　幀　蟹江征治
印　刷　豊国印刷株式会社
製　本　株式会社国宝社
本文データ制作　講談社デジタル製作部

© Tamon Ishimura　2012　Printed in Japan

落丁本・乱丁本は，購入書店名を明記のうえ，小社業務部宛にお送りください。送料小社負担にてお取替えします。なお，この本についてのお問い合わせは学術図書第一出版部学術文庫宛にお願いいたします。
本書のコピー，スキャン，デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することはたとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。Ⓡ〈日本複製権センター委託出版物〉

ISBN978-4-06-292141-1

目次

無限　その哲学と数学

第二版への序文……13
序文……33
序章　無限のパラドクス……40
1　無限小のパラドクス　44
2　無限大のパラドクス　48
3　一と多のパラドクス　55
4　無限に関する思考のパラドクス　59
第一部　歴史
第一章　古代ギリシアの思想……66
1　アナクシマンドロスと〈ト・アペイロン〉　66
2　ピュタゴラス学派　70

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

3　エレア派　79
4　プラトン　86
5　古代ギリシアの数学者　92

第二章　アリストテレス……100
1　予備的考察　100
2　問題　105
3　解決　可能的無限と現実的無限　111
4　解決の適用　115
5　残された問題　123

第三章　中世とルネサンス……125
1　ギリシアの遺産　反発と発展　125
2　トマス・アクィナス　133
3　後期の発展　数学的無限　136

4　ニコラウス・クザーヌス　ルネサンスの終末　147

第四章　微積分学……151

1　微積分学の基本原理　151
2　微積分法小史　160
3　現況を点検する　175

第五章　合理論者と経験論者……186

1　合理論者　187
2　経験論者　197

第六章　カント……205

1　背景　カント哲学の概要　205
2　形而上学的無限と数学的無限　210
3　世界の無限性　アンチノミー　213

4　理性の無限性　227

第七章　カント以後の無限の形而上学……232

1　ヘーゲル　233

2　ヘーゲル以後の無限の形而上学の思想潮流　I　「形而上学的に大きい」　242

3　ヘーゲル以後の無限の形而上学の思想潮流　II　「無限小」　248

4　ヘーゲル以後の無限の形而上学の思想潮流　III　実存主義者　252

5　ニーチェ　258

第八章　無限の数学　カントールの衝撃……262

1　ボルツァーノ　266

2　数学の基礎づけに関する一九世紀末前後の仕事　270

3　カントール理論の要諦とその最初の受容　279
4　順序数の理論　ブラリ－フォルティのパラドクス　289
5　このパラドクスに対するカントールの態度　300
6　以後の発展　公理化　303

第九章　カントールの衝撃に対する反応……308
1　直観主義　309
2　有限主義　314
3　ヴィトゲンシュタイン　321
4　現代の思想　331

第二部　無限を査定する

第一〇章　超限数学……338
1　集合の反復的概念　「全ての集合の集合」のパラドクス　339

2　集合としての順序数　347
3　基数　無限集合を測る　349
4　連続体仮説　355
5　加算による無限と分割による無限について（再考）　358

第一一章　レーヴェンハイム－スコーレムの定理……364
1　この定理の紹介　反論と反駁　364
2　スコーレムのパラドクスの解決　懐疑主義と相対主義　374
3　懐疑主義と相対主義への反駁　378
4　意味と理解　この定理は最終的に無害化される　383
5　それでも消えないパラドクス　389

第一二章　ゲーデルの定理……395
1　導入　ユークリッドのパラダイム　395
2　ゲーデルの定理の証明の粗描　399

3　ヒルベルトのプログラム　408
4　人間精神とコンピュータ　412
5　自己意識　416
6　意味と理解　417

第一三章　語ることと示されること……425
1　『論考』における「語ること／示されること」の区別　427
2　語ること／示されることの区別の観念　434
3　無限に関するヴィトゲンシュタインの初期の見解　441
4　無限なるものと言表不可能なもの　451

第一四章　無限を査定する、歴史を見直す……459
1　無限なるものと言表不可能なもの
——古代ギリシア、中世とルネサンス、
カント以後の思想における　461

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

2　アリストテレスとカント　成功しない妥協？　465
3　経験論者　非妥協的な成功？　468
4　ヴィトゲンシュタインの批判
　　アリストテレスとカントは弁護されたか？　470
5　無限の一致の不可能性と排中律　476
6　直観主義の問題　483

第一五章　人間の有限性……497

1　人間の有限性の本質　498
2　時間　505
3　理性の理念としての無限
　　語ること／示されることの区別（再論）　507
4　人間の有限性の痛み　死　517
5　有限であること　525

註……533
術語一覧……563
参考文献……583
索引……597
訳者あとがき……598
解説……野矢茂樹……600

無限

その哲学と数学

A.W.ムーア
石村多門訳

講談社学術文庫

目次

無限　その哲学と数学

第二版への序文……13
序文……33
序章　無限のパラドクス……40
1　無限小のパラドクス　44
2　無限大のパラドクス　48
3　一と多のパラドクス　55
4　無限に関する思考のパラドクス　59
第一部　歴史
第一章　古代ギリシアの思想……66
1　アナクシマンドロスと〈ト・アペイロン〉　66
2　ピュタゴラス学派　70

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com